

冬季に露地あるいは無加温ハウスで栽培できる切り花類

【背景・目的・成果】

直売所出荷を目的に露地あるいは無加温ハウスで栽培が可能な一・二年草および宿根草の切り花品目を選定しました。これにより、現在、商品が品薄となる冬～早春に、地元産による低コストで安定的な切り花の出荷が可能となります。

露地および無加温ハウスにおける収穫期および品質の違い

「 」は品種名、●:定植期、■:収穫期、□:収穫できるが出荷に適さない

【露地】 12月中旬～3月中旬はビニールでトンネル被覆

品目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	切り花長(cm)	備考	判定
オキシペラタム 「コエルレウムセレクト」				●							□	20未満	切り花長短い	×
カーネーション 「ソネットシリーズ」	●		■	■	■					■		40～60	調査は5月末終了	○
ガーベラ「オムレット」			●	■	■			枯死				40～50		×
キンギョソウ「アスリートミックス」				●						□		60	花穂短い、調査は5月末終了	×
キンセンカ 「ゴールドスター・オレンジスター」				●				■	■			30～50		○
スターチス・シヌアータ 「コスモブルー」				●							■	50	調査は5月末終了	△
ストック「カルテットシリーズ」				●						■		40(花穂まで)		○
ラナンキュラス「レイネットグリーン」				●						□		30未満	切り花長短い	×

【無加温ハウス】

品目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	切り花長(cm)	備考	判定
オキシペラタム				●							■	50	調査は5月末終了、据置栽培可能	○
カーネーション	●		■	■	■				■	■		50～90	調査は5月末終了	○
ガーベラ			●	■	■	□	■					40～50	調査は3月末終了、据置栽培可能	○
キンギョソウ				●				■	■	■		90	調査は4月末終了	○
キンセンカ				●				■	■	■		50～70		○
スターチス・シヌアータ				●						■	■	90～100	調査は5月末終了	○
ストック				●					■	■		60(花穂まで)		○
ハナナ(黒川ちりめん)				●					■	■		70		○
ヒマワリ(サンリッチレモン)				●		■						45	開花率90%	△
ヒマワリ(ゴッホ)				●		■						100	開花率70%	○
マーガレット(在来種)			●					■	■	■		120	調査は3月末終了	○
ラナンキュラス				●				■	■	■		40～50	4月立枯れ病発生	○

【技術の活用】

冬～早春期の切り花出荷に向けて、暖房管理することなく、上記の一・二年草および宿根草を栽培できます。

- カーネーションおよびガーベラは苗からの栽培です(ガーベラは3～5年ごとに植え替え)。
- 他の品目は、種子からの栽培が可能です。
- 本技術の適応地域は県中南部です。